



JASDAQ

平成 23 年 4 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社メデカジャパン  
代表取締役名 代表取締役社長 渡 邊 信 義  
(JASDAQ・コード9707)  
問い合わせ先 取 締 役 小 野 吉 広  
管 理 本 部 長  
電 話 番 号 048 (631) 0010

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年1月12日付にて発表いたしました、平成23年5月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

#### 1. 平成 23 年 5 月期 連結業績予想の修正等

通期（平成 22 年 6 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日）業績予想数値

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	27,770	1,480	940	895
今回修正(B)	28,350	1,670	1,160	1,170
増減額(B-A)	580	190	220	275
増減率	2.1%	12.8%	23.4%	30.7%
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 5 月期)	26,869	1,166	643	691

#### 2. 平成 23 年 5 月期 個別業績予想の修正等

通期（平成 22 年 6 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日）業績予想数値

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	25,540	1,175	740	735
今回修正(B)	26,290	1,320	910	930
増減額(B-A)	750	145	170	195
増減率	2.9%	12.3%	23.0%	26.5%
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 5 月期)	24,821	909	488	634

### 3. 業績予想の修正理由

#### (1) 連結業績予想の修正理由

連結業績予想の主な修正要因は、当社の個別業績予想の修正によるものであり、これに伴い、連結業績予想を修正いたします。

なお、個別業績予想修正に比して、連結売上高の増加が小幅になっているのは、当第3四半期連結会計期間において、持分法適用非連結子会社の株式を追加取得し完全子会社化した後に連結子会社とする予定でございました。しかし、当該会社の株式追加取得が実施できなかったことにより、当連結会計年度では非連結子会社としており、その結果、計画していた当該非連結子会社の売上高 237 百万円を業績予想数値に組み入れることができなかったことによるものです。

#### (2) 個別業績予想の修正理由

平成 23 年 5 月期第 3 四半期の業績を踏まえ、業績予想を修正いたします。

わが国の高齢者人口は、今後団塊世代を加えて更に急増してまいります。世界にも類を見ないわが国の超高齢社会において、介護サービスのインフラ強化、受入体制の整備は急務であり、当社のような民間介護事業者の担う社会的役割が益々重要になって来ることを強く認識しております。

当社は、今期一貫して職員の教育研修に注力し、顧客である利用者及び家族の満足度向上に努めるとともに、施設における顧客受入れ能力（受入れ可能定員数）を増やす取り組みも行ってまいりました。こうした取り組みの成果として、当第3四半期における当社複合介護施設「そよ風」の業績は順調に推移してまいりました。

デイサービス、ショートステイ、グループホーム、有料老人ホーム等、各種介護サービスにおける利用者数は、当第3四半期会計期間においていずれも前年を上回っており、デイサービス延べ利用者数が前年同期（平成 21 年 12 月～平成 22 年 2 月）比 1.1 万人増（6.2%増）、ショートステイで前年同期比 5.5 千人増（5.4%増）、グループホームで同じく 3.7 千人増（3.1%増）、有料老人ホームで同じく 4.4 千人増（8.5%増）の堅調な業績向上を示しております。

また、平成 23 年 3 月 1 日付けにてユニマットグループの介護会社である、株式会社ユニマットケアサポートと簡易合併したことにより、平成 23 年 5 月期の売上高が 550 百万円増加する見込みです。

これらの要因により、売上高は計画を上回る見込みとなっており、通期の売上高は、750 百万円の増加を予想しております。

利益面につきましては、上述の売上の増加に対して、全社的な経費適正化施策が功を奏し経費増が小幅に留まったことにより、営業利益、経常利益とも計画を上回る見込みとなり、通期の営業利益は 145 百万円、経常利益は 170 百万円の増加を予想しております。当期純利益につきましては、195 百万円の増加を見込んでおります。

### 4. その他

上記の業績予想は、その発表日現在において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、平成 23 年 3 月 1 日付株式会社ユニマットケアサポートとの簡易合併により発生するのれんについては現在精査中であり、業績予想の修正が必要とされる場合は、確定次第速やかにお知らせいたします。

以 上